

UTCP L2プロジェクト  
「共生のための障害の哲学」  
第13回研究会



# マイケル・イワマ講演会

ディスアビリティの文化的構築と  
作業療法学

講演タイトル：

“Eastern & Western Constructions of Disability;  
a Critical Examination of Occupational Therapy Theory”

講演者：マイケル・イワマ教授 (Georgia Regents University)  
コメンテーター：田島明子 (聖隷クリストファー大学)  
司会：景山洋平 (東京大学/日本学術振興会 (PD))

作業療法学における従来の理論研究は、欧米文化に特有の人間観に基づき人間と環境の関係を考察した。だが、人間と環境の関係が文化により異なる事実は、ディスアビリティ概念の批判的再考を求める。本研究会では、日本の作業療法士との共同作業に基づく新たな作業療法理論「川モデル」を提唱したイワマ教授を迎え、ディスアビリティと文化の関係を討議する。

《講演者プロフィール》

ブリティッシュ・コロンビア大学講師、ダルーシー大学准教授、トロント大学准教授を経て、2012年より現職。医療人類学と社会学の二分野で博士号取得。リハビリテーション科学で修士号、作業療法で学士号取得。

2014年6月23日 (月) 14:00~17:00

会場：東京大学駒場キャンパス18号館コラボレーションルーム3 (4階)  
使用言語：英語 | 入場無料 | 事前登録不要